

<資 料>

和牛産肉能力検定(直接検定法 : 2022 年度)

小田 亘

Individual performance test of sire in Japanese Black cattle

Wataru ODA

要 約

候補種雄牛を雄子牛から選抜するため、公益財団法人全国和牛登録協会の定める和牛種雄牛産肉能力検定(直接検定法)を実施した。

- 1 2022 年度に 5 頭の直接検定を実施し、4 頭が終了した。
- 2 検定終了牛の 1 日当たり平均増体量(DG)は、1.19kg、平均審査得点は 83.4 点であった。
- 3 検定成績、血統、体型等を総合的に評価した結果、「花美百合 2」を候補種雄牛として選抜した。

キーワード : 黒毛和種、産肉能力検定(直接検定法)、種雄牛、増体量、和牛

緒 言

優良種雄牛を作出するため、県内優良雌牛から生産された産肉性及び種畜性が期待される雄子牛について、増体性、飼料効率及び種畜性を判定するため、和牛種雄牛産肉能力検定(直接検定法)を実施した。

材料および方法

1 検定種雄牛

肉用牛広域後代検定推進事業により認定された産肉能力育種価の高い繁殖雌牛から生産された雄子牛について産子調査を実施し、発育状況等の優れたものを検定対象牛として選抜した。

2021 年度検定実施の検定牛は表 1 に示したとおりで、父牛別にみると、「新岡光 8 1」産子が 2 頭、「美恵茂」、「美国桜」、および「勝乃幸」産子が各 1 頭の計 5 頭であった。

2 検定方法

公益財団法人全国和牛登録協会の定める和牛種雄牛産肉能力検定法(直接検定法)<sup>1)</sup>に従い、次のとおり実施した。

- (1) 検定開始月齢 : 8 カ月齢

- (2) 検定期間 : 112 日間

- (3) 検定飼料および給与方法

濃厚飼料 : 直接検定用飼料を

体重比 1.0~1.3%制限給与

可消化粗タンパク質(DCP) 12.5%

可消化養分総量(TDN) 70.5%

粗飼料 : チモシー乾草を飽食

3 調査項目

日増体量(以下 DG)、365 日齢補正体重、飼料摂取量、体重(2 週間毎)、各部位測尺(4 週間毎)、終了時審査得点

検定成績

2021 年度に検定が終了した 4 頭について検定成績を表 2 に示した。

1 増体量

DG は、最高が「美国茂」で 1.32kg、最低が「沢茂岡光」の 1.07kg、平均は 1.19kg であった。

また、365 日齢補正体重は、最高が「岡光利花」494.4kg で、最低が「花美百合 2」409.6kg であり、平均 455.4kg であった。

表1 検定牛の概要

セットNo.	名号	生年月日	登録番号	血統			産地	検定期間
				父	母	母の父		
R4-1-1	花美百合2	2021.8.5	2021子受卵岡黒6199	美国桜	ゆりはなや	百合茂	岡山市	2021.4.6 ~ 2021.7.27
R4-1-2	美国茂	2021.7.23	2021子岡黒95	美恵茂	しんはなさくら1	美国桜	久米郡	〃
R4-2-1	沢茂岡光	2022.1.31	2022子岡黒7	新岡光81	さわとしさかえ	沢茂勝	久米郡	2022.10.14 ~ 2023.2.3
R4-2-2	岡光利花	2021.2.8	2022子岡黒9	新岡光81	としひめいわ	利花	久米郡	〃
R4-3-1	初花勝	2022.6.26	2022子岡黒86	勝乃幸	いとはつはな	糸勝百合	久米郡	2023.3.1 ~ 2023.6.21

## 2 飼料摂取量および粗飼料摂取率

飼料摂取量のうち、タンパク質関連は粗タンパク質(CP)で表示され、最高 103kg「岡光利花」、最低 96kg「花美百合2」であり、平均 99.5kgであった。飼料摂取量のうち TDN は、最高 551kg「沢茂岡

光」、最低 490kg「花美百合2」であり、平均 519.8kgであった。

また、粗飼料摂取率は、最高が 52.8%、最低が 44.3%であり、平均は 48.3%であった。

表2 検定成績結果

セットNo.	名号	1日平均 増体量	365日 補正体重	飼料摂取量		粗飼料 摂取率	発育		審査得点	
				CP	TDN		体高 ( $\sigma$ 値)	発育判定		
R4-1-1	花美百合2	1.29	409.6	96	490	52.8	124.6	0.4 $\sigma$	3-(5)	83.7
R4-1-2	美国茂	1.32	454.7	97	492	48.2	120.6	-1.1 $\sigma$	2-(3)	82.3
セット平均		1.31	432.2	96.5	491.0	50.5	122.6	-0.4 $\sigma$		83.0
R4-2-1	沢茂岡光	1.07	462.8	102	551	47.8	127.0	0.8 $\sigma$	4-(5)	83.6
R4-2-2	岡光利花	1.08	494.4	103	546	44.3	128.0	1.3 $\sigma$	4-(5)	83.9
セット平均		1.08	478.6	102.5	548.5	46.1	127.5	1.1 $\sigma$		83.8
2022年度	平均	1.19	455.4	99.5	519.8	48.3	125.1	0.4 $\sigma$		83.4

## 3 終了時の発育および審査得点

体高の最高は 128.0cm の「岡光利花」で、最低は「美国茂」の 120.6cm であり、平均は 125.1cm であった。(公社)全国和牛登録協会の定める和牛発育標準(雄)に基づく発育判定では「4-(5)」が 2 頭、「3-(5)」が 1 頭、「2-(3)」が 1 頭であった。

## 4 候補種雄牛の選抜

また、審査得点は、最高が「岡光利花」の 83.9 点で、最低が「美国茂」の 82.3 点であり、平均は 83.4 点であった。直接検定成績、血統および体型等の結果を総合的に検討した結果、2022 年 9 月開催の岡山県和牛改良委員会において、「花美百合2」を、候補種雄牛として選抜した。

## 文 献

- 1) 公益財団法人全国和牛登録協会編(2022)：和牛登録事務必携(令和3年度版)，177-179.